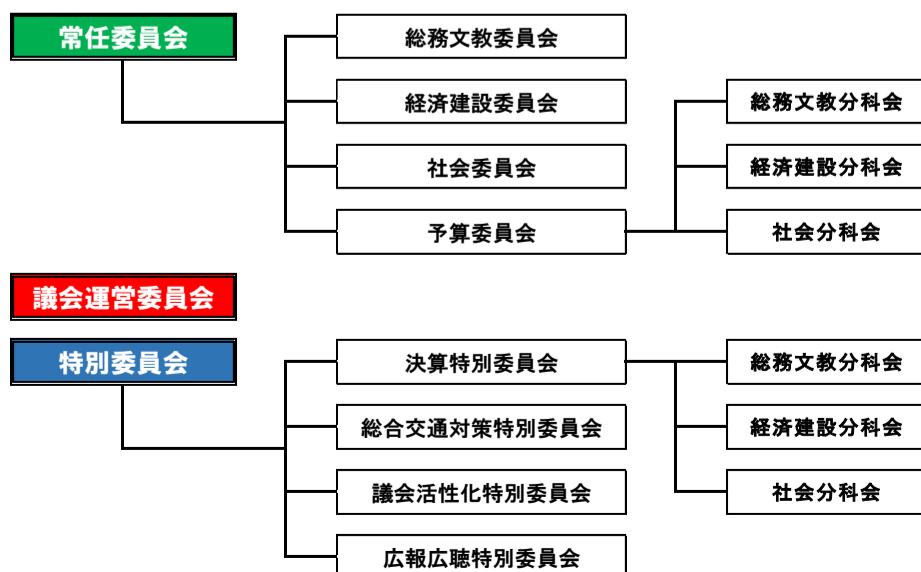


議会報告・意見交換会『議会と語ろう会』

【第1部】議会報告資料

(1) 各常任委員会報告事項

	項目	説明資料
総務文教委員会	R4年3月からの主な事項	<p>○臼田地区新小学校開校について 第1回定例会では、新小学校開校のための通学路グリーンベルトの整備や転落防止柵設置が、区や小学校からの要望に沿ったものである事を確認しました。また第2回定例会では校舎、体育館、給食センターの工事が順調に進捗している状況を現地視察しました。いよいよ令和5年4月開校となります。</p> <p>○電算システム管理費について 総合窓口システム構築にあわせ、市民が住所移転等の届を行う際に、椅子に座って手続きができるようにバリアフリー化をする改装経費である事を確認し、バリアフリー化を進めるにあたり、利用者からも意見を聞き当事者に寄り添った改装を要望しました。</p> <p>○(仮称)佐久市いじめ防止対策に関する条例制定に向けた意見交換の開催について 条例の素案を作成し、本年7月より順次、佐久市PTA連合会役員、教育委員会、校長会、NPO法人チャイルドライン佐久等と意見交換を開催しました。今後は各種団体よりいただいたアドバイスを参考に、佐久市らしさを盛り込んだ、委員会提案による条例制定を年度内に目指します。</p> <p>○女性デジタル人材育成を協力を推進するための支援を求める意見書を提出 女性の経済的自立や女性人材の成長産業への移動支援を図る観点が必要であり、我が国の国際競争力を高め生産性を向上させる上でも着実な遂行が、日本の発展において不可欠である事により、女性のデジタル人材育成の強力な推進を図るため、全会一致で採択し国へ提出しました。</p>
	※所管事項 ・総務、企画、支所、消防、防災に関する事 ・選挙、財政、広報に関する事 ・教育に関する事等	
経済建設委員会	R4年3月からの主な事項	<p>○ゼロカーボンに向けた取組について 2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し宣言した「佐久市気候非常事態宣言」。ゼロカーボンの実現のため、市としてどのような取組をしているか、令和4年6月、環境部より説明を受け、委員による質疑等を通して意見交換を行いました。今後においても、ゼロカーボンに関する予算案、決算認定の審査や市の取組状況を定期的に報告いただく中で、議会としてのチェック機能を果たしてまいります。</p> <p>○コロナ禍における経済対策等 令和4年3月、6月に佐久市商工団体連絡協議会から新型コロナウイルス対策支援及び中小企業支援策に関する要望が佐久市議会に提出されました。要望内容の一つであったプレミアム付商品券事業については、9月定例会において関連する予算案が提出され、当委員会でも審議した上、全会一致で可決しました。その他の要望内容についても真摯に受け止め、市民の皆様の声を市政へ反映させるべく努めてまいります。</p> <p>○佐久平駅南土地地区画整理事業 令和4年9月末、佐久平駅南土地地区画整理事業地内の市道が開通し、商業施設などが順次建設されています。今年度末には、区画整理地内北側に屋根付き広場やキッチンスペースなどを備えた佐久平南広場が完成する予定で、行きかう人々の憩いの場となるよう、事業を進めていることを確認しました。</p>
	※所管事項 ・生活環境、下水道に関する事 ・農業、林務、商工、観光に関する事 ・道水路・公演の維持管理、建築、市営住宅に関する事等	
社会委員会	R4年3月からの主な事項	<p>○委員会審査について 佐久市障害児通園施設条例の一部を改正する条例や野沢共同作業センターの指定管理者の指定についてや、佐久市印鑑条例の一部を改正する条例など審議しました。今後も市民の皆さまの理解を得られるよう慎重審議を行なって参ります。</p> <p>○臓器移植の環境整備を求める意見書について 市内に心臓移植を待つお子さんがいらっしゃることを契機に、臓器移植の現状を知り、3月の定例会で意見書の提出を提案しました。公益社団法人日本臓器移植ネットワークによると、日本では心停止後のものを含めても臓器提供数は必要数を大きく下回っています。その理由としてドナーや臓器提供施設が少ないことが指摘されています。臓器を提供する権利、臓器を提供しない権利、移植を受ける権利及び移植を受けない権利を平等に尊重しつつ、臓器移植を国民にとって安全で身近なものとして定着させる取り組みを国へ求める意見書を佐久市議会として提出しました。</p> <p>○行政視察及び意見交換について～子どもの権利に関する条例制定に向けて～ 子どもの支援について積極的に取り組んでいる大分県中津市、宮崎県延岡市、議員提案による条例を制定した大分県大分市への行政視察を行いました。それぞれが子どもの権利を守り、保証し、支援していく社会を目指して条例の制定や子ども相談窓口等の設置をしており、多くの示唆を得ることができました。また、佐久市部落差別撤廃人権擁護審議会委員や市公立保育園園長会、市PTA連合会役員、市児童館館長会及びNPO法人チャイルドライン佐久の皆さんと条例について意見交換を行いました。現在は、教育委員会の協力のもと市内小学4年生から高校3年生までを対象にアンケートを実施して、子どもたちの実態や考えを直接調査しています。子ども一人ひとりが「かけがえのない地域の宝」であることから、健やかな育ちを支援するため、子どもの権利に関する条例の制定を目指します。</p>
	※所管事項 ・市民生活に密着した市民福祉や高齢者福祉、浅間病院に関する事等  YouTube 佐久市議会チャンネル	



総務文教委員会 定数：9人	総務部・企画部・会計局・教育委員会・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項
経済建設委員会 定数：8人	環境部・経済部・農業委員会・建設部の所管に属する事項
社会委員会 定数：8人	市民健康部・福祉部・国保浅間病院の所管に属する事項
予算委員会 定数：25人	予算に関する事項

議会報告・意見交換会『議会と語ろう会』

【第1部】議会報告資料

(1) 各常任委員会報告事項

項目	説明資料
予算委員会 委員会の概要等	予算委員会では、佐久平女性大学運営費や行政DX推進事業費等、42の新規事業を始め拡充する継続事業の予算を審議し、令和4年度当初予算一般会計496億円、特別会計367億円の総額863億円の原案を可決するに至りました。6月定例会では、原油価格・物価高騰の煽りを受けている市内公共交通機関や、農林水産業者に対する支援等、一般会計の補正予算案を審査し、全会一致で可決となりました。また、9月の定例会では物価高騰による市民1人あたり3千円の商品券配布等の補正予算が可決され、一般会計予算の合計は約537億円となっております。

(2) 議会運営委員会報告事項

項目	説明資料
議会運営委員会 R4年3月からの 主な事項	議会運営委員会は、年4回の定例会の前や臨時議会があった場合一週間前から開催しています。主な内容は、定例会の日程の決定が主ですが、議会運営に係ることから、常任委員会で所管しないものなど多くのことを議論しています。今年は、質問時間について多くの時間を要しました。新型コロナ感染による影響から、通常の一時間とするか、あるいは感染防止の観点から短縮しての質問とするかです。結果は短縮しての質問時間に落ち着きましたが、早く通常の時間に戻ればと考えています。また、本会議は大勢の方に傍聴していただいておりますが、傍聴のルールとして傍聴者にマスクの着用をお願いしています。疾患があった場合など、傍聴に来られる人の体調など考慮すべきとの意見もあったことから、議長が認めた場合は、この限りでないとなりました。このような方は、事前に申し出てくださいと思います。このほか予算委員会や決算特別委員会では、分科会に付託しているため、全体会議では質疑ができません。このため、どの程度まで質疑可能とするかや、質疑の時間は会派の人数により決定するかなど、現在協議を重ねています。

(3) 各特別委員会等からの報告事項

項目	説明資料
決算特別委員会 委員会の概要等	決算特別委員会は、市の予算が議会の議決や法令の規定に基づき、公正、適正、効果的に執行されたのか、また、市民の福祉向上にどのように寄与したのかを審査するため、議長及び議会選出の監査委員を除く、全議員で構成された組織であります。 9月14日の本会議において、当委員会に付託された議案は、一般会計及び特別会計の決算認定12件であります。15日には、委員が注視している事業項目について、現地調査、及び事前通告、または所管部局から選定された項目について、各部局から説明を受けることにより、審査を行いました。また、常任委員会の専門性を活かした審査を行うため、総務文教分科会、経済建設分科会、社会分科会の3つの分科会を設置し、9月16日から21日までの3日間、各分科会を開催し、より詳細な審査を行ったところであります。審査結果は、議案第63号から議案第73号までの、決算認定議案については、すべて、全会一致による原案認定でした。 また、議案第74号につきましても、全会一致により原案可決及び認定と決しました。
総合交通対策特別委員会 R4年3月からの 主な事項	総合交通対策特別委員会では、高速交通網等道路整備に関する事、また、より良い公共交通等交通政策のため調査・研究に取り組んでいます。 デマンド交通「さくっと」は、令和4年4月から自宅前乗降が市内全域に拡大されました。また、10月にはキャッシュレス決済が導入されました。当委員会においては、状況説明等を受ける中で、各委員による質疑や提言を通して、議会としてのチェック機能を果たしつつ、これからもより良いデマンド交通の在り方について、調査、研究、検証をまいります。 また、11月7日には、中部横断自動車道及び松本佐久連絡道路の早期実現について、国土交通省、財務省及び関係国会議員に対して、要望活動を行いました。今後においても、これら道路の早期実現に向けて、より一層、取組を継続してまいります。
議会活性化特別委員会 R4年3月からの 主な事項	議会活性化特別委員会では、議員定数削減に関する事、議会活動の見える化などについて調査・研究しております。 議員定数削減の検討については、市民アンケートの結果をホームページに掲載しました。また5月には佐久市男女共生ネットワークとの意見交換会を実施、そして10月には、市内2カ所でも市民との意見交換会を行いました。今後、議員間討議、当特別委員会での討議などを行い、結論を出してまいります。 議会活動の見える化については、委員会議事録や議案の賛否をホームページに掲載する取り組みなどについて、今年度内に実施できるよう検討を進めてまいります。
広報広聴特別委員会 R4年3月からの 主な事項	広報広聴特別委員会では、季刊誌である「ギカイの窓」の編集を主に行っております。より分かりやすく、また読みやすくする為に佐久市議会は市民の皆さんから市議会の広報の企画、編集等に対する市民意見を反映させるための「佐久市議会広報モニター」を設置しており、モニターの皆様からの委嘱書を5月に行いました。モニターの皆様から頂きました毎回のアンケートを元に協議の上、修正を行っております。修正ポイントや毎回のアンケートのご意見についての詳細はホームページ上で公開しておりますのでご参照下さい。また、「議会と語ろう会」の企画・運営も行っており、今回初めてのオンラインを導入しての意見交換会となります。